

「まちづくり通信」では、若葉地区で行われる行事やイベントなど、様々なまちのトピックスをレポートします。また、各種お知らせも掲載していますのでぜひご覧ください。

若葉地区まちづくり推進協議会事務局

若葉地区文化祭開催しました!!

3月4日(土),5日(日)に4年ぶりとなる第23回若葉地区文化祭を開催しました。コロナ対策を踏まえた制限もかかりましたが、晴天にも恵まれ708名のご来館の方々をお迎えし、久しぶりに賑わいのあるお祭りを開くことができました。

【出展・出演していただいた皆様】

- ◇作品展示 573作品(245名)
- ◇舞台演芸 18個人団体(111名)
- ◇バザー 5個人団体

開催の準備や後片付けにご協力いただいた文化祭実行委員の皆さんをはじめ、地区の皆様方に御礼申し上げます。

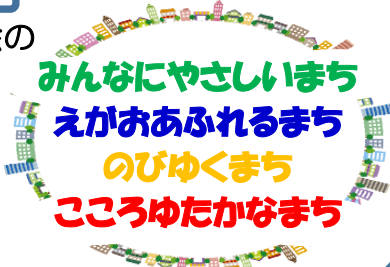


まちづくり推進計画が承認されました!!

3月14日、若葉地区まちづくり推進協議会の臨時総会が開催され、これからの10年間のまちづくりの指針となる「若葉地区まちづくり推進計画(第2期)」が承認されました。

次回(5月号)で計画の概要版を各ご家庭にお配りし内容をお知らせします。

【基本目標】



うらら健康マイレージのご寄付に感謝します

若葉地区まちづくり推進協議会に令和4年度の「うらら健康マイレージポイント」6,000円(2名12口)のご寄付を頂きました。

より良いまちづくりの為に、有効に活用させていただきます。

有難うございました。



連載スタート! 「災害から命を守る」 第1回「自助・共助・公助」って何? まち協安全安心部会

令和3年10~11月に実施した「災害から命を守る仕組みを作る」ためのアンケートの集計結果(令和4年「若葉まちづくり通信」3月号にて報告済み)から、皆さんにぜひ知っていただきたい内容を、ピックアップして連載でお届けしていきます。

自助

自分自身(家族)の身の安全を守ること
(例えば、家族の救助、家具の転倒防止、水・食料の備蓄など)

共助

地域や周囲の人たちが協力して助け合うこと
(例えば、避難時の近所への声掛け・手助け、避難所運営への協力など)

公助

市町村や消防、県や警察、自衛隊といった公的機関による救助・援助

どうして自助・共助が大切なの?

※アンケートで「この意味を知っている」と答えた人は42.2%でした。

阪神淡路大震災では、倒壊家屋の下から救出された全体の約8割の方は、家族や近隣の方々によって救出されています。災害発生直後で一刻を争う時、道路事情が悪い、人手が足りないなど、公助に頼ってはいけません。



Point

- ①自分の命は自分で守ろう。
- ②地域の絆を深め、防災力をUPしよう。

※参考 総務省消防庁HP防災危機管理eカレッジ「東日本大震災」(www.fdma.go.jp) 令和2年版「防災白書」P40